

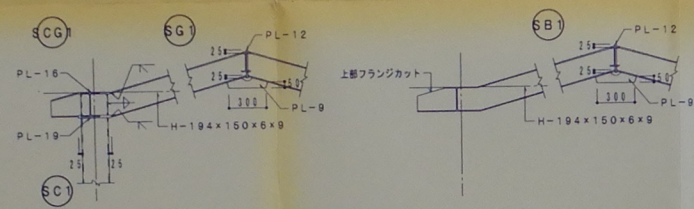
柱断面表 S=1/30

特記 1 使用鋼材は、STKN400規格品とする。
2 使用ダイヤフラムは、SN400C規格品とする。
3 使用B-PLは、SN400規格品とする。
4 使用A-BOLTは、SS400規格品とする。

部 号	部 材
1 脚	P-216 3×5.8
柱 脚	
ベースプレート	B-PL-16×400×400
アンカーボルト	4-M16 (L=480 DN締め)
RC柱壁	
主 筋	12-D19
HOOP	□D10#100
備 考	TOP HOOP 2-D13

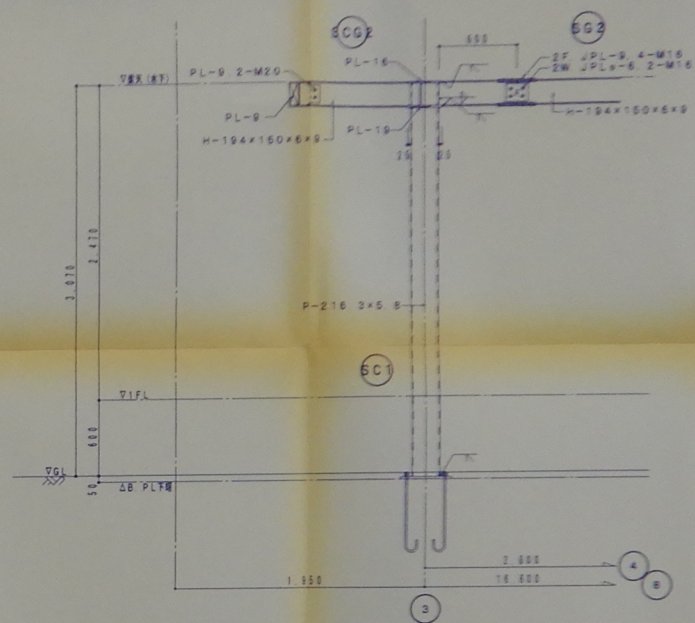
二次部材断面表 特記 1 使用鋼材は、SN400B規格品とする。
2 使用HTBは、S10Tとする。

部 号	主 材	G PL-1	HTB	備 考
SB1	H-194×150×6×9	9	2-M20	
SB2	H-150×75×5×7	6	2-M16	
SCG1	BH-194×150×6×9			元端剛接合 先端H=135
SCG2	H-194×150×6×9			元端剛接合 継手は大梁継手数による。



部分鉄骨詳細図 S=1/30

特記 1 使用PLは、SN490C規格品とする。



A通り鉄骨詳細図 S=1/30

特記 1 使用ダイヤフラムは、SN400C規格品とする。

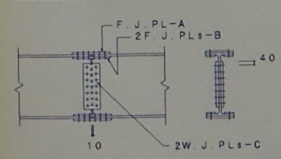
大梁断面表 S=1/30 特記 1 使用鋼材は、SN400B規格品とする。
2 梁-梁剛接合JOINTは、SCSS-H97による。

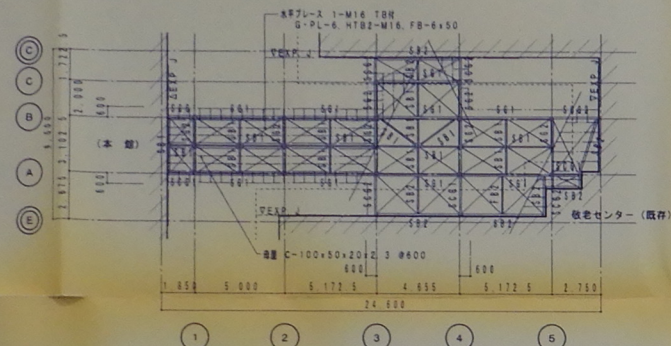
部 号	部 材
梁 状	I
部 材	H-194×150×6×9
接 合	両端剛

大梁継手表 特記 1 使用鋼材は、SN400B規格品とする。
2 使用HTBは、S10Tとする。
3 下流のF-HTBの本数は、JOINTする片側の梁の1フランジに必要な本数とする。
4 下流のW-HTBの本数は、JOINTする片側の梁のウェブに必要な本数とする。

大 梁 主 材	SCSS-H97 継手呼称	フ ラ ン ジ			ウ ェ ブ	
		F-J PL-A	2F-J PL-B	F-HTB	2W-J PL-C	W-HTB
H-194×150×6×9	GGF-4X-J2015-0609-16	9	9	4-M16	6	2-M16

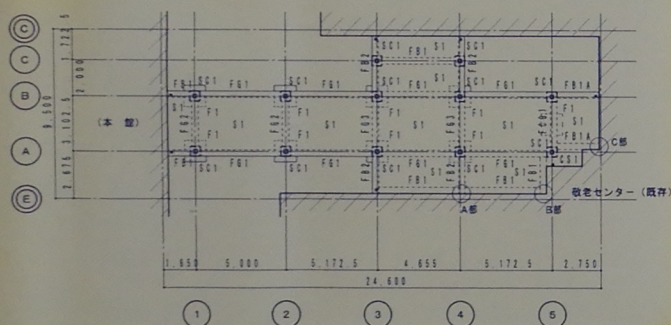
梁継手要領図





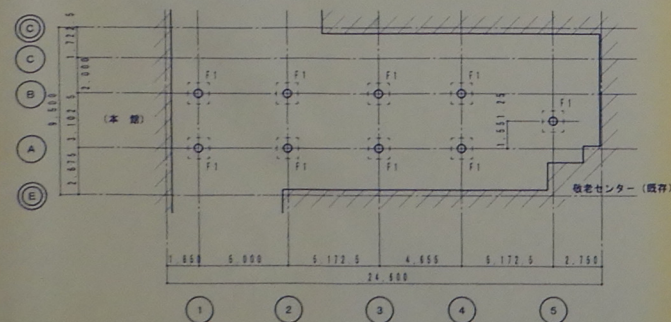
R階梁伏図 1/200

特記 1. 梁天端レベルは軸線図による。



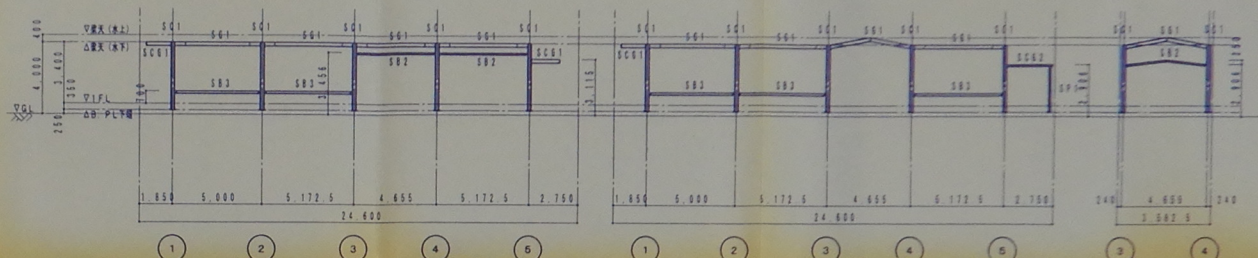
基礎伏図 1/200

特記 1. 1F L=GL+600 2. スラブ天端レベル=1F L-30 3. B・PL下層レベル=GL+250 4. 基礎天端レベル=GL+200 5. 基礎下層レベル=GL-950 6. 間柱番号は軸線図による。



杭伏図 1/200

特記 1. 杭間レベル=GL-850 2. 杭先端レベル=GL-27.850



A通り軸組図 1/200

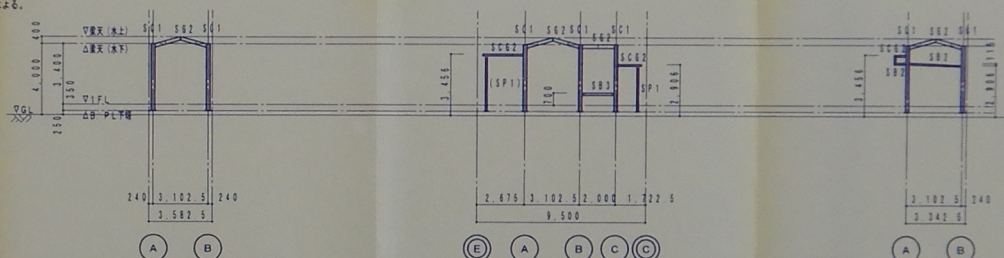
特記 1. 大梁軸手位置は、柱面より600とする。

B通り軸組図 1/200

特記 1. 大梁軸手位置は、柱面より600とする。

C通り軸組図 1/200

特記 1. 大梁軸手位置は、柱面より600とする。



1, 2通り軸組図 1/200

特記 1. 大梁軸手位置は、柱面より600とする。

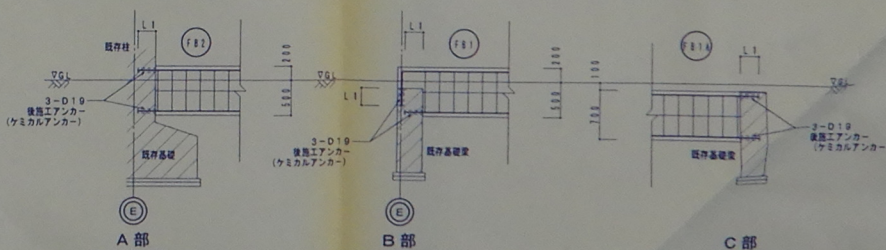
3, 4通り軸組図 1/200

特記 1. 大梁軸手位置は、柱面より600とする。
2. () 内SP1は、3通りのみとする。

5通り軸組図 1/200

特記 1. 大梁軸手位置は、柱面より600とする。

基礎梁と既存躯体との取合 1/50



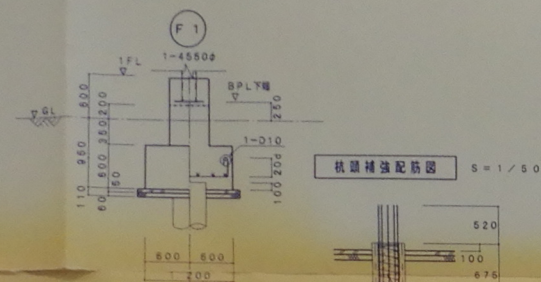
(注) ・接合部の既存躯体は目視らしのこと。
・L1=10d (dは鉄筋径) 以上とする。

工事仕様書
・国土交通省大臣官庁官庁建築部監修
「建築工事共通仕様書 (最新版)」
「建築標準設計基準及び関係図 (最新版)」
・日本建築学会
「建築工事標準仕様書 JASS6 (鉄筋コンクリート工事)」
「建築工事標準仕様書 JASS6 (鉄骨工事)」
使用材料
コンクリート: $F_c 21 \text{ N/mm}^2$
鉄筋: SD295A (D16以下)
SD345 (D19以上)

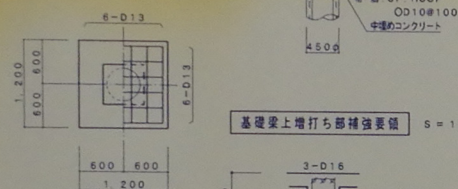
柱一覧表

柱仕様 既設PHC柱 (大臣認定済み工法) 新設鋼管コンクリート柱

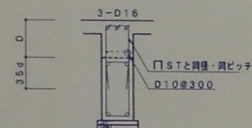
記号	上 部	下 部	柱長 (m)	本 数	重量 (kg)
○	PHC 柱 8 種 (1.3 m)	PHC-S7 柱 A 種 (1.4 m)	2.7	9	330 kg/本



抗頭補強配筋圖 $S = 1 / 50$

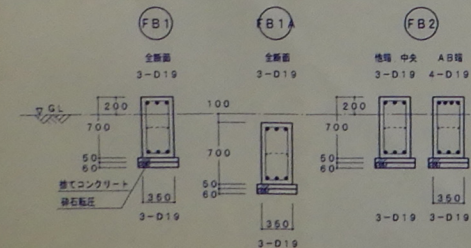
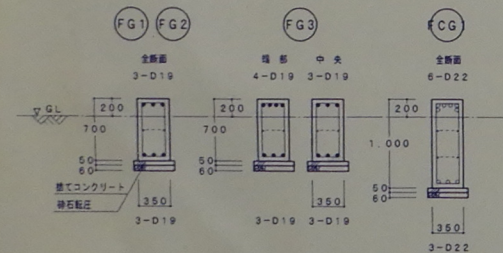


基礎梁上増打ち部補強要領 $S = 1 / 40$



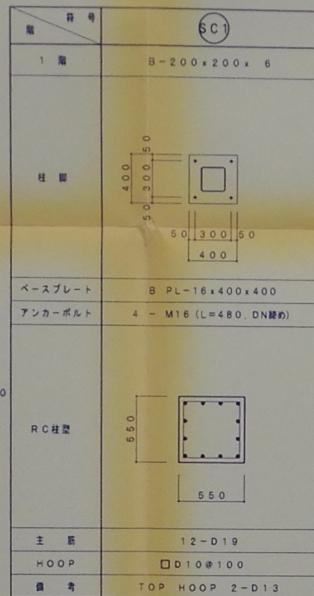
基礎梁斷面表 $S = 1 / 40$

附記 1 ST □D10@200
2 断面 D10
3 巾止の区 D10@1,000以内



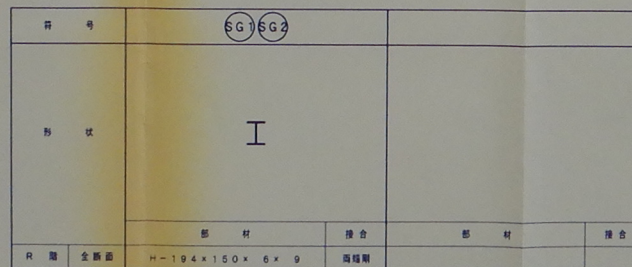
柱断面表 $S = 1/30$

特記外 1. 使用鋼材は、STKN400規格品とする。
2. 使用ダイヤフラムは、SN490C規格品とする。
3. 使用日・PLは、SS400規格品とする。
4. 使用A・BOLTは、SS400規格品とする。



大梁断面表

特記外 1. 使用鋼材は、SN400B規格品とする。
2. 梁-梁剛接合 JOINTは、SCSS-H97による。



大梁總手表

特記外 1 使用鋼材は、SN400B規格品とする。
2 使用HTBは、S10Tとする。
3 下巻のF-HTBの本数は、JOINTする片側の梁の1フランジに必要な本数とする。
4 下巻のW-HTBの本数は、JOINTする片側の梁のウェブに必要な本数とする。

大 変 更 材	SCSS-H97 継手呼称	フ ラ ン ジ			ウ ェ ブ	
		F. J. PL-A	2F. J. PL-B	F. HTB	2W. J. PL-C	W. HTB
H - 194×150× 6× 9	GGF-4X-J2015-0609-16	9	—	4-M16	6	2-M16
H - 100×100× 6× 8	GGF-4X-J1010-0609-16	16	—	4-M16	9	2-M16

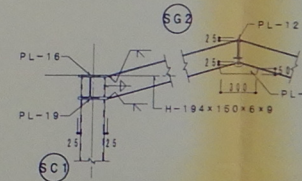
二次部材断面表

特記 1. 使用鋼材は、SN400B規格品とし、○印はSTKR400規格品とする。
2. 使用HTBは、S10Tとする。

符 号	主 材	G P L - I	H T B	備 考
SB1	H-150×75×5×7	6	2-M16	
SB2	H-100×100×6×8	6	2-M16	
SB3	H-150×150×7×10	9	2-M20	
SCG1	H-194×160×6×9	_____	_____	元端開接台
SCG2	H-100×100×6×8	_____	_____	元端開接台 取手は実取手数による。
SP1	Ⓑ 100×100×6	6	2-M16	端部 CT-125×125×6×9

スラブ配筋表

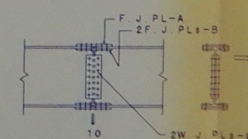
符 号	板 厚	位 置	短边方向 (主 筋)		长边方向 (配力筋)		备 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	
S 1	150	上	D 13@200		D 13@200		
		下	D 10@200		D 10@200		
CS 1	150	上	D 13@200		D 13@200		
		下	D 10@200		D 10@200		



部分鉄骨詳細図 $S = 1 / 30$

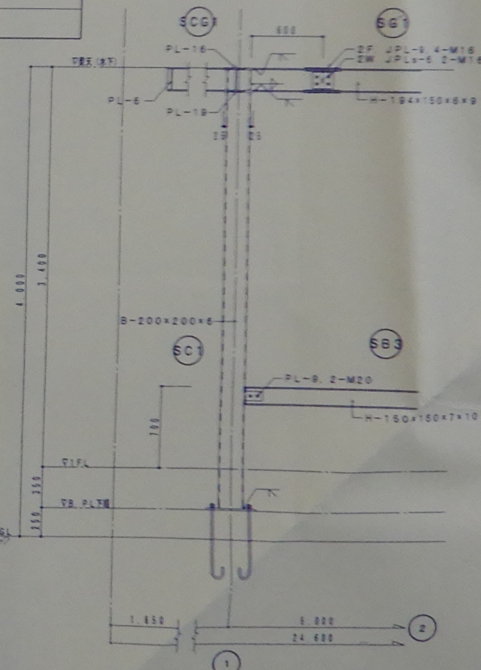
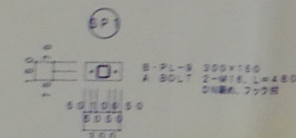
特記外 1. 使用PLは、SN490C規熟品とする。

柔總手要領圖



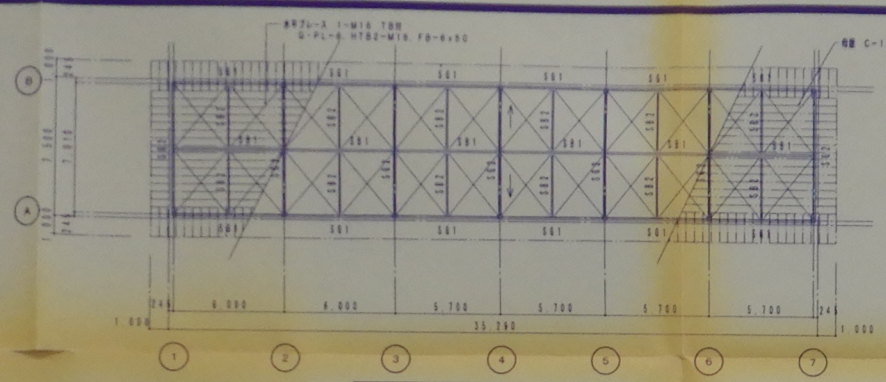
開柱柱斷面表

解説 1. 使用B・PLは、SS400の炭素鋼とする。
2. 使用A・BOLTは、SS400の炭素鋼とする。



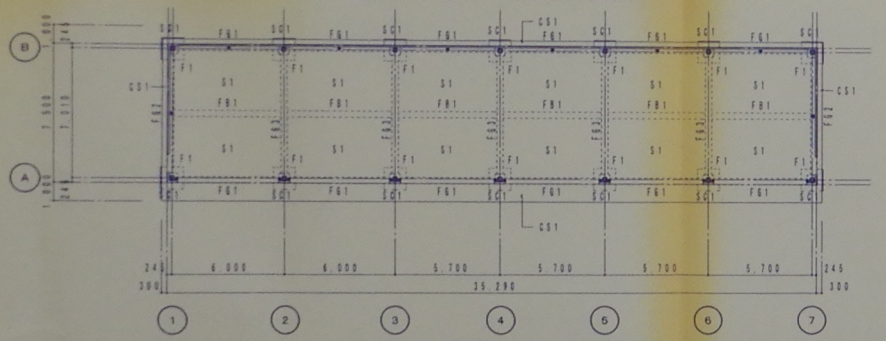
A 通り鉄骨詳細図 S = 1 / 30

特記外 1. 使用ダイヤフラムは、SN490C炭素品とする。



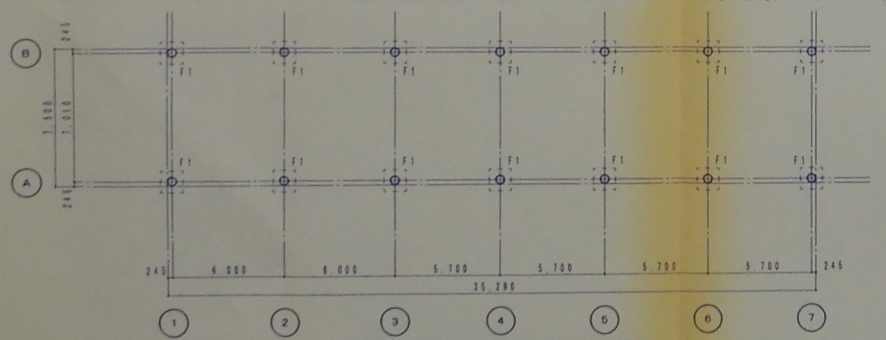
R階梁伏図 1/200

特記 1 梁天端レベルは軸組図による。



基礎伏図 1/200

特記 1 1FL=GL+100 2 スラブ天端レベル=1FL-20 3 B-PL下端レベル=GL-50 4 基礎天端レベル=GL-100 5 基礎下層レベル=GL-1200 6 階柱符号は軸組図による。



S = 1 / 50



特記外 1 ST □D10#200
2 廢筋 D10
3 由止め筋・二層配筋保持金物---D10#1,000以内



S = 1 / 3 0

特記外 1 使用鋼材は、BCR295規格品とする。
2 使用ダイヤモンドは、SN490C規格品とし、

大梁断面表 $S = 1/30$

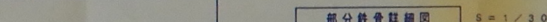
特記外 1. 使用鋼材は、SN400B規格品とする。
2. 梁-梁剛接合JOINTは、SCSS-H97による。

大 鐘 錶 手 表

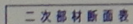
特記外 1. 使用鋼材は、S400B規格品とする。
2. 使用HTBは、S10Tとする。
3. 下巻のF-HTBの本数は、JOINTする片側の梁の1フランジに必要な本数とする。
4. 下巻のW-HTBの本数は、JOINTする片側の梁のウェブに必要な本数とする。

間柱柱脚断面表

特記外 1 使用B・PLは、SS400規格品とする。
2 使用A・BOLTは、SS400規格品とする。



特記外 1. 使用PLは、SN490C規格品とする。



特記 1. 使用鋼材は、S400B標準品とし、○印はSTKR400標準品とする。
2. 使用HTBは、S10Tとする。

スラブ配筋表

部分鉄骨柱細図 $S = 1 / 30$

特記外 1. 使用PLは、SN490C規格品とする。



特記外 1. 採用ダイヤフラムは、SN490C標準品とする。

